

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ
Theme

キャリア教育「見つけよう！自分の夢を
～クリーニング技術の実演～」

学校名
School

野洲市立野洲小学校（6年生）

講師等
Lecturer
etc.

財団法人

滋賀県生活衛生営業指導センター

実施日
Date

平成24年11月2日

教科等
Subject etc.

総合的な学習の時間

授業 Class

講話・実演・実習の3つのローテーションに分かれて学習しました。

講話では、クリーニングの様子を映像を通して学習しました。布の上下に蒸気をあてシワを伸ばす「パフプレス機」や、超音波の振動で染みを抜く「シミ抜き機」のほか Y シャツが一瞬にして長方形に折りたたまれる「Y シャツ仕上げ機」などが登場しました。

アイロンがけの実演では、児童らはプロが使う5kgのアイロンを持ち上げて、重さを実感しました。アイロンには温度計がなく、講師は水でぬらした指で直に触れて温度加減を見極めると、Y シャツをバサッと宙で泳がせ、無言のまま真剣なまなざしでアイロンを滑らせ始めました。重たいアイロンが職人の手にかかると、命を宿したようななめらかさで滑りだし、児童らは息をのんで見つめていました。

数人の児童が率先して、アイロンがけに挑戦し、講師は「端からあてると、糸が縦や横にゆがんでしまう。中央から当てるのがコツ」等とアドバイスをされました。

実習では、体操着のたたみ方を教わり、できない友だちに教えてあげる児童の姿も見受けられました。



感想 Impression

児童より Impression from Children

- プロの方のアイロンにとっても感心しました。自分たちの使っているものよりも、かなり重いアイロンを自在に操れるのがすごいと思いました。
- ドライクリーニングの液が布の形をそのままにとどめて、すごいと思いました。
- いつも野球のユニホームを適当にたたんでいたけど、こんなきれいなたたみ方があるなら、もっと早く教えてほしかったです。
- 200°Cのアイロンに直に触れるのがすごいと思いました。
- アイロンのかけ方やたたみ方を学んだので、家でお母さんのお手伝いをしてみたいと思いました。
- 今まで体操着や給食着をぐしゃぐしゃに閉まっていたけど、たたんでみたら思ったより簡単でした。きちんと折りたたんでしまっておいたら、次使うときに、「よし！体育やろう！」という気分になれる気がします。

学校より Impression from school

何度も打ち合わせのため来校頂き、しっかりと計画・確認ができました。子どもの動き等も細かくレジュメに示してくださいました。

説明・実演・実習と様々な活動があり、子どもたちも飽きずに取り組めて良かったです。

講師より Impression from lecturer

今回初めて小学生を対象にやらせてもらいました。4クラス 138人を3グループにわけ、時間配分等について3回打ち合わせをさせてもらいましたが、使う教室が離れていたことや大人数であったことから、終了時間にばらつきが生じ、時間が大幅にオーバーしてしまいました。

できれば1グループ30人程度だと、より充実した授業になるかと思いました。

子どもたちが非常に興味をもって授業を受けてくれたことは、当センターも充実感を感じています。